



第1時

(2)

「えい！やあ！」

ゲームの中の主人公が、敵をやっつけています。

小学校2年生のみくしくんは、今、

このゲームをととても気に入っています。

(3)

「かっこいいなあ」

みくしくんは思いました。

「この主人公みたいになりたいな。」

みんなにも かっこいいポーズを見せてあげたいな」

(4)

次の日の学校。掃除の時間です。

みくしくんは、お友達に話しました。

「僕が今、遊んでいるゲームの主人公は  
とってもかっこいいんだよ。

持っている武器も光るし、色が変わるんだよ。」

お友達がみくしくんに聞きました。

「へえ、どんなふうにかっこいいの？」

(5)

それを聞いたみくしくんは、

「こんなふうで敵を倒すんだよ。見せてあげる。」

みくしくんはそう言うと、ゲームの登場人物のまねをして  
ほうきを振り上げて、お友だちを叩きました。

「やあ〜っ！！」

(6)

そのとたん、お友達は 大声で泣き出しました。

「わあああああ～ん！」

先生やお友達が、二人のまわりに集まってきました。

「どうしたの?!」

みくしくんは言いました。

「ぼくの好きなキャラクターのまねをしたただけだよ」

まわりのお友達が言いました。

「でも 泣いているよ」

(7)

驚いたみくしくくんは考えました。

「ゲームのかっこいい主人公の真似をしただけなのに  
どうしてお友達は泣いちゃったのだろう。」

みくしくくんは、とても悲しい気持ちになっていました。